

# 一貫教育校の広場

## 慶應義塾湘南藤沢中等部・高等部開校25周年

●湘南藤沢中等部・高等部 教諭

ひさまつこうじ  
久松宏二

湘南藤沢中・高等部は、1992年に開校され、今年で25周年を迎えました。本校の卒業生数は約5500人になり、とうとうとしており、多種多様な分野において活躍しています。25周年を迎え、そうした卒業生（同窓生）の活躍が、よいよ頼もしく感じられる段階に入ったと思います。学校でも、社会で活躍する卒業生に対して講演の機会を設けるなど、今後ますます卒業生の声や力を還元していけるような環境を整えていきたいと考えています。

25周年の企画の一つとしては、記念のロゴを作成しました。本校の生徒・教職員だけではなく卒業生・同窓会にも対象を広げて、公募という形をとりました。選考は本校生徒会の意見もふまえロゴを決定しました。湘南藤沢キャンパスの「鴨」をメインにしたデザインで、作成者は本校卒業生の小杉山立夏子さん（現在環境情報学部2年）です。このロゴを基に25周年の記念品を作り、全校生徒には10月に配布します。また、10月から11月の文化祭までの期間に校内の一部に展示スペースを設け、25年の歩みを写真や記念誌で振り返ります。SFCの変貌が航空写真で見ただけだと思えます。さて、2011年の南校舎建設により、それまで不足



ていた教室数に少しゆとりができたことで、授業展開の工夫が広がりました。また国際交流室を作ったことで、本校の特徴である国際交流実践の場がよりよい環境になりました。現在は、6カ国10校と交換留学の機会を設けています。英語圏以外の国との交流も盛んで、韓国やシンガポールの交換留学プログラムは、2018年には10周年を迎えます。また、一貫教育校派遣留学制度においても、毎年本校生徒が選抜されて1年間の留学生生活を送っており、在校生にも大きな刺激をもたらしています。このように一貫教育校の中でも、国際交流を含めた幅広い異文化交流を展開しています。

2013年に横浜初等部が開校しました。そして2019年4月には、両校の連携により、小・中・高12年の一貫教育がスタートします。施設の面では、2017年から本格的に新棟と体育館の建設が始まりました（写真…完成模型）。一貫教育のメリットを最大限に生かした、多い教育の実践に向けてソフト面とハード面での準備を進めています。

25周年を迎え、教職員一同本校の理念を堅持し、「湘南藤沢らしさ」を大切にするのを再認識しています。そして、横浜初等部を加えた小・中・高の一貫教育の実践に向けて、気持ちを新たにしているところです。